



民生委員ら約20人が参加した不登校・ひきこもり地域支援者講座Ⅱ八代市千丁公民館

不登校の子ども 地域でサポート

八代市で人材育成講座

不登校や引きこもりの子どもたちをサポートできる人材を育成する第一回「不登校・ひきこもり地域支援者講座」が二十八日、八代市千丁町の市千丁公民館で始まった。八代地域の学校や市などをつくる「八代不登校・ひきこもりサポートネットワーク」(代表・中川静也秀岳館高校長)が開いており、昨年に続き二回目。八代市の民生委員ら約二十人が出席した。

引きこもりの人たちの相談などを受けているNPO法人「地球家族エコロジー協会」(福岡県)の中光雅紀理事長が「子どもの自立を妨げるもの」と題して講演。引きこもりになる人の傾向を、「親が世話をやき過ぎたりして、自分で判断や決定をしたり、責任をとる機会を奪われている場合が多い」と指摘。「親は失敗を許定することなく、あるがままを受け入れ尊重することが大事」と強調した。

第二回の講座は十二月十二日、第三回は十八日、いずれも午後一時から同公民館である。問い合わせは同ネットワーク事務局0995(33)6571。(内田裕之)

★第1回「不登校・ひきこもり地域支援者講座」の様子を伝える記事

(熊本日日新聞：11月29日掲載記事より)